

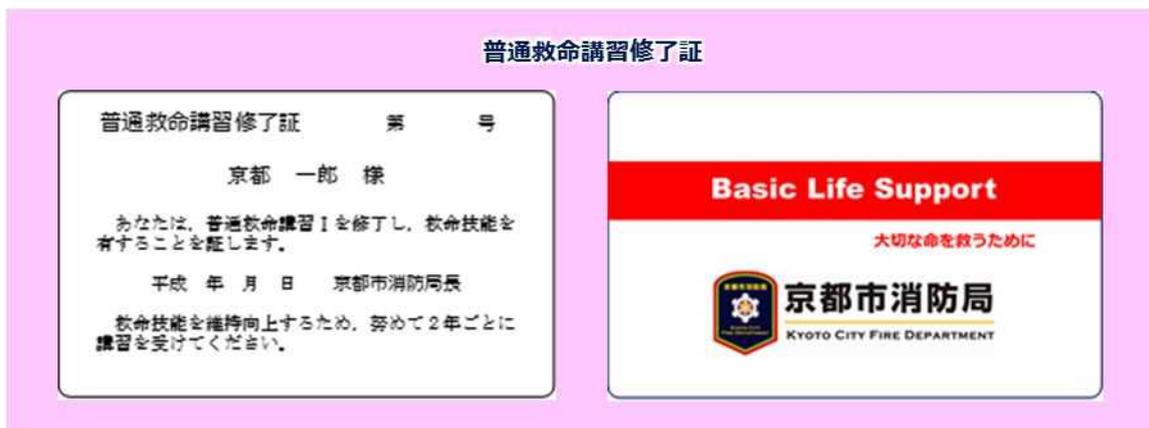
### 一次救命処置を身に着けるために

一次救命処置を身に着けるための講習として、京都市では、「普通救命講習Ⅰ」、「普通救命講習Ⅲ」、「上級救命講習」、「救命入門コース」を実施しています。

「普通救命講習Ⅰ」は成人の救命を対象とし、「普通救命講習Ⅲ」は小児、乳児、新生児の救命を対象とした心停止の早期認識と119番通報、心肺蘇生法やAEDの取扱い、異物除去法や止血法を学ぶ3時間の講習で、平成26年度には合わせて約37,000人が受講しました。

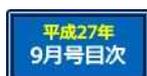
「上級救命講習」は「普通救命講習Ⅰ」や「普通救命講習Ⅲ」の内容に加え、傷病者管理法、けがの手当てと搬送方法、心肺蘇生法等に関する知識の確認や、実技の評価が加わる8時間の講習です。

「救命入門コース」は、胸骨圧迫とAEDの取扱いを学ぶ90分の講習で、京都市では小学5・6年生を対象に実施しています。



### 大切な命を救うために

突然、心臓や呼吸が止まった人を救うのはあなたしかいません。あなたがその場に居合わせた場合に一刻も早く、勇気を持って一次救命処置を開始できるよう、心肺蘇生法やAEDの使用法を身に着けておきましょう。



#### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課  
 電話:075-682-0119  
 ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

## 平成27年9月号 消防活動へのとびら

ページ番号186961

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) [シェア](#) 2015年9月1日

第2回目は、「大規模震災用高度救助車」について紹介します。

## ◆◆ 大規模震災用高度救助車 ◆◆

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、倒壊建物等のがれきや津波堆積物により、多くの地域で緊急車両が進入できず、迅速な救助活動の妨げになりました。さらに、がれきやコンクリートに挟まれた人々を救出するための効果的な救助資器材を携行できなかったため、救助活動が難航しました。

このような教訓から、「大規模震災用高度救助車」は航空機(自衛隊のC-130輸送機に搭載)を利用して空からも被災地に派遣できる小型の救助工作車で、走破性が高く、がれきの下から迅速に救出するための震災に対応した最新の資器材を積載しています。

平成25年3月27日から運用が開始され、大規模災害時等における緊急消防援助隊に出動する車両として登録されています。また、平常時の災害に活用できる資器材を積載していることから、市内の救助事故現場に出動する車両としても運用しています。

## 大規模震災用高度救助車



「大規模震災用高度救助車」は、AR(Air Rescue)とER(Electoric Rescue)の2台1組になっており、ARには圧縮空気を利用する器具を中心とした資器材を、ERには電動式器具を中心とした資器材を積載しています。

## 主な積載装備

## 1. AR

ARは、がれき等に閉じ込められた要救助者を迅速に救出するため、車両後部に高圧エンジンコンプレッサー(以下「エアマン」という。)を積載しており、このエアマンの圧縮空気を利用して駆動する各種先端破壊器具(倒壊した建造物やコンクリートを破壊する器具、コンクリートに穴を開けることができる器具)を積載しています。車両が近付けない救助事故現場においても、高圧ホース(50m×2本)を延長して使用することができます。

さらに、要救助者を安全かつ迅速に発見・救出するため、狭い穴や隙間から内部の状況を確認できる画像探査機、暗闇等で人命検索に使用する熱画像直視装置や夜間用暗視装置、救助活動中に早期に地震の発生を知らせる地震警報機、コンクリートが切断可能なダイヤモンドチェーンソー、ダブルブレードカッター等を積載しています。



左側面



エアマンを使用したコンクリートの破壊

## 2. ER

ERは、がれきや倒壊座屈建物から要救助者を救出するための電動式救助器具(重量物を排除する器具、鉄製の扉などを切断する器具)、電動式破壊器具(コンクリートを破壊する器具)を積載しています。また、車両装備として夜間の現場において照明車として使用できる照明装置やPTO駆動発電機により、各種電動式救助器具を作動することができます。



照明装置



空気充填用コンプレッサー



電動式救助器具

平成27年  
9月号目次

### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課  
電話:075-682-0119  
ファックス:075-671-1195

### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

**平成27年9月号 教養課通信 1**

ページ番号187537

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート シェア

2015年9月1日

## ❖❖ 教養課通信 1 ❖❖

より高度な救助技術及び知識等を身につけるため

**特別教育（高度救助）を実施**

❖❖ 消防学校 教養課 ❖❖



教養課では、消防救助課本部救助隊と連携し、各署・分署の専任・兼任救助隊員に、より高度な救助技術及び知識等を身につけさせるため、特別教育（高度救助）を実施しました。初日の8月11日には右京区嵯峨水尾鳩ヶ巢において、急流域の河川で溺水している要救助者を救出する訓練を、12～13日には消防活動総合センターにおいて、地震により倒壊した建物内に閉じ込められた要救助者を検索する資器材の取扱いや救出の訓練を実施しました。

**8月11日 急流域の河川で溺水している要救助者を救出する訓練（右京区嵯峨水尾鳩ヶ巢）**

8月12日～13日 倒壊建物内に閉じ込められた要救助者を検索する資器材の取扱訓練・救出訓練（消防活動総合センター）





平成27年  
9月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

- 役に立った
 どちらともいえない
 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

- 見つけやすかった
 どちらともいえない
 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#)
[上京区](#)
[左京区](#)
[中京区](#)
[東山区](#)
[山科区](#)
[下京区](#)
[南区](#)
[右京区](#)
[西京区](#)
[伏見区](#)

---

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

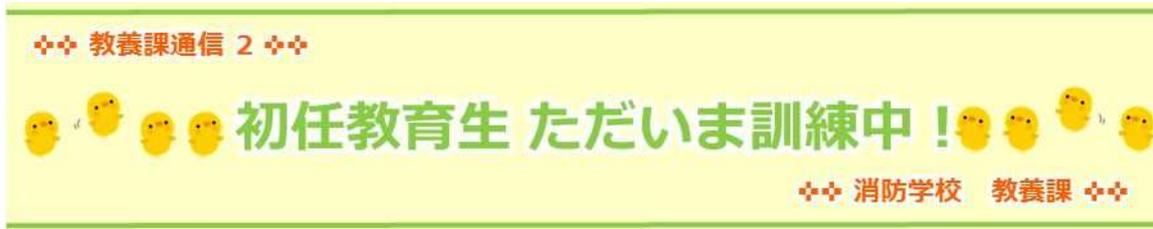


現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年9月号](#) 平成27年9月号 教養課通信 2

平成27年9月号 教養課通信 2

ページ番号186968

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) [シェア](#) 2015年9月1日



平成27年4月1日付けで京都市消防学校に入校し、10月からの消防署勤務に向けて様々な訓練に取り組む第150期初任教育生。彼らの将来への抱負を紹介します。





平成27年  
9月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

---

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

---

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年9月号](#)  
平成27年9月号 わが社の防火防災自慢

## 平成27年9月号 わが社の防火防災自慢

ページ番号186963

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



2015年9月1日



わが社の防火防災自慢

### 刑務所の防災

京都刑務所

処遇部処遇部門警備係 橋本 善秀 氏



#### 京都刑務所の紹介

京都刑務所の歴史は平安時代に遡り、その後、天下人が変わろうとも囚獄機能は連綿と引き継がれ、明治維新以降も現在に至るまで、その系譜を受け継いだ伝統ある施設です。昭和初期、二条城付近に所在していた京都刑務所が、かつての宇治郡山科村に移転して以来、90年近い歳月が経ちました。移転当時の職員は、苦辛しながらも農村での生活に溶け込んでいったと言います。以来、当所は常に地域と共にあり、少なからず山科発展の礎となり得たことは、私たちの誇りとなっています。



刑務所表門

#### 刑務所における火災とは

京都刑務所を含む矯正施設では、勤務するうえで防止すべき事故が多数あります。中でも、最も注意しなければならない事故は「自殺・逃走・火災」と言われる三大事故です。この事故のうち、最も事態が拡大する懸念がある事故は「火災」です。刑務所では、原則、受刑者は鍵の掛かっている部屋で生活しているため、自らの力では外に出ることができません。つまり、ひとたび火災が発生すれば、人命を伴う甚大な被害を及ぼしかねない事態に発展するため、私たち職員は火災を常に意識して勤務しています。

#### 防火・防災の取組

自衛消防組織の編成は、所長(本部長)をはじめ、各部門・課にそれぞれの任務(消防、救護、避難誘導、補給・輸送等)を担っており、各火災予防週間では、受刑者の避難誘導訓練や各種設備点検、消防・防災機器の取扱い等、職員全員参加での訓練を実施しています。

また、毎年9月には山科自衛消防隊訓練大会に参加しており、昨年は小型動力ポンプ操法の部で優秀賞を受賞しました。これも事前訓練指導での山科消防署の御協力の賜物であり、本年の訓練大会に参加するに当たっても、一層の努力で取り組みます。



消防訓練の様子

### 消防係受刑者について

京都刑務所では、受刑者が行う作業の種類に「自営作業」というものがあり、炊事・清掃・建物の補修等、施設の維持管理に必要な作業を受刑者が行っています。中には火気を取り扱う作業もあるため、施設は火災事故等の発生に備えて受刑者の中から「消防係受刑者」を選定し、出火防止と初期消火の重要性を徹底するため、計画的に消防訓練を実施しています。

### 今後の課題

今日、阪神・淡路大震災や東日本大震災以降、私たち矯正職員も防災意識は高くなっています。先の東日本大震災では、戦後初めて一般人への支援を行うため、矯正職員が被災地へ派遣されました。その際、当所からも職員が派遣され、被災地での人道支援に当たりました。私たちは、このような経験を通じて、日頃から防災意識を高めておくことの重要性を改めて認識しています。今後も災害が起こりうる場面を想定し、そのために必要な訓練や機器の取扱い方を修練し、不測の事態に常に万全を期すことができるように励んでいきます。

平成27年  
9月号目次

### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

## 平成27年9月号 担当区ぐグット紹介

ページ番号186965

 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます
 [ツイート](#)
[シェア](#)
 2015年9月1日


### 学区の紹介

広沢学区は右京区の北西に位置し、平安時代から大宮人が狩猟や若菜摘みなどの風流を楽しんだ景勝地であったことから、現在も豊かな自然環境に恵まれています。学区の北部にある広沢池は、奈良の猿沢池・大分県の初沢池と並んで日本三沢のひとつに数えられており、年末に行われる「鯉揚げ」は京都の師走の風物詩となっています。

また、歴史の古い広沢学区は、重要文化財に指定されている木造十一面観音立像と木造不動明王座像が安置されている遍照寺をはじめ数多くの史跡が残っており、歴史と自然が一体になった素晴らしい環境の学区です。

### 自主防災会の紹介

広沢学区自主防災会は18の自主防災部で構成されており、約3,000世帯あります。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識から、あらゆる防火・防災行事の企画から運営までを自主防災会が主体となって取り組まれています。今年度、新たに就任された青木自主防災会長が中心となって活動され、学区の総合防災訓練をはじめ地域の自主的な防火・防災活動として、広沢小学校の通学路周辺を巡回する「夜間パトロール」の実施、自主防災会の防災力向上を目的とした防災研修の実施など、日々、防火・防災意識の高揚が図られています。

今年度は新たに広沢学区の防災行動マニュアル策定に取り組み、学区の総合防災訓練ではマニュアルに基づいた初動措置訓練のほか「避難所」について地域住民への周知を図るなど、もしものときに自分たちが何をすべきかを再認識してもらう訓練となるよう、会長以下で計画が進められています。



広沢学区自主防災会による学区総合防災訓練の様子

### 消防分団の紹介

そして、広沢学区自主防災会には、とても心強い防火・防災のパートナーがいます。

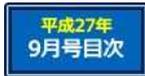
広沢学区では、毎年、全ての自主防災部を対象に防火座談会(消火器取扱訓練)を実施していますが、この防火座談会を全面的にサポートしているのが、広沢学区を管轄している嵯峨消防分団です。日程調整から訓練用消火器等の事前準備、当日の訓練指導までをすべて分団員が行います。防火座談会だけでなく、学区の総合防災訓練をはじめ、防火・防災に関わる行事には、必ず嵯峨消防分団員の姿があります。

また、広沢学区自主防災会は学区内の各種団体との交流も深く、定期的に意見交換を図ることで、日々変化していく防災情報を、各世代の広沢学区民へ発信されています。

### 学区担当者から

我々が担当する広沢学区の防火・防災に関する活動は、山下自治連合会会長の下、学区内の各種団体の強力なバックアップと全面的な協力があって、毎年、自主防災会として発展的な取組ができています。特に、学区の防災活動における要務分担として、学区内の各種団体によって自主防災会の応急活動班が編成され、総合防災訓練をはじめ様々な学区行事においても、取り組まれています。今後、この強固な地域の絆で学区民が一丸となり、災害に強く安心して住み続けられるまち「広沢学区」を築いていかれることでしょう。

我々消防署員も、今年度策定予定の防災行動マニュアルの継続的なサポートを行っていくとともに、広沢学区民のため、より一層防火・防災に取り組んでいきます。



### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

## 平成27年9月号 ザ☆消防

ページ番号186964

 ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます
 [ツイート](#)
[シェア](#)
 2015年9月1日


消防人生も7年目に入りました。

新任時代は、ただただ「いつか火災現場に一番に到着したら、自分が要救助者を救出するぞ。」と心の中で思いながら、実際の訓練では訓練の意図やイメージを思い描けず、何も理解できていませんでした。慌ててばかりで、上司から「一つの訓練を大事にすること。新しいことに進もうとするのではなく、やってきたことを確実に理解していくこと。」とよく言われながらも、変わらない自分がいました。

消防隊1年目、臨時にC救助隊の隊員として勤務したときの夜です。指令センターから、「N区N通火災受信中。」の予告指令が入りました。場所は出張所から約500mのところ。出勤してすぐ、広範囲に上昇する黒煙が目に見え込んできました。私たちが現場に最先着した部隊でした。無我夢中でホースを延長。玄関がシャッターで閉鎖されており、玄関以外に進入口がないことから、放水準備ができた後、副隊長がエンジンカッターでシャッターを切断しました。内部を確認すると、1階は火災が広がっていました。筒先を消防隊に交代し、聞き込み情報から2階に要救助者がいることが判明しました。はしごを使用し、2階へ到着。副隊長とA隊員は消防隊の援護注水を受け、検索活動を実施しました。すぐさま、「要救助者発見！」という声が濃煙の中から聞こえてきました。私は救出口への誘導と、周りの消防隊に要救助者が搬送されてくることを伝え、サポートをお願いしました。1階へ救出するため、はしごを使用して燃え盛る建物の横での過酷、かつ、1分1秒を争う救出活動でした。各隊との連携により、要救助者を1階へ救出し、救急隊へ引き継ぎました。訓練とは違い、救出されてきた要救助者に、「わかりますか？ 頑張ってください。」と、救出活動に携わった全隊員が必死に声を掛け続けました。それまで、普段の訓練で先輩から、「誰のために訓練しているのや?」、「要救助者は家族、身内と思え!」とよく指導されていました。このときは、一つの火災現場としか思いませんでしたが、普段から訓練していた「最先着の際の火災想定放水訓練、火災救出訓練を生かす」ことができた貴重な現場であり、また、今となっては、私が経験した災害の中で最も記憶に残る現場となりました。普段から慌ててばかりの私に、上司、先輩は冷静、かつ、的確に指示してくれました。また、何かきっかけを与えようとしたのか、私の防火靴にこっそり「平常心」とマジックで書かれているのを見付けたのはこの災害現場から帰ったときでした。字体からすぐ普段は厳しい先輩が書かれたのだとわかりました。感極まり、涙が流れそうになりました。

この災害現場は、いろいろなことを知ることができた自分の「原点」だと今は思います。決して忘れることなく、自分の貴重な財産とし、日々の業務に努めたいと思います。そして、今までで多くの上司、仲間に恵まれ、指導していただいたからこそ、今の自分があります。育てていただいた感謝の思いと、これまでの経験を大切にしていきたいです。



▲筆者右端



▲筆者左から2人目

 平成27年  
 9月号目次

お問い合わせ先

---

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#)

[上京区](#)

[左京区](#)

[中京区](#)

[東山区](#)

[山科区](#)

[下京区](#)

[南区](#)

[右京区](#)

[西京区](#)

[伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

## 平成27年9月号 あの日あの頃

ページ番号186966

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) [シェア](#) 2015年9月1日あの日あの頃  
百戦錬磨の師匠たちに感謝

左京消防署 奥田 敦史

早いもので、消防学校を卒業してからもう36年。

たくさんの現場へ行き、いろいろな経験をいっぱいしてきました。そんな中で思い出されるのは、現場で幾度となく危険な目に遭ったとき、私を助けてくれ、育ててくれた百戦錬磨の師匠たちのことです。

1つは、二つ折りはしごの先端から放水する際、放水圧力に負けて地上に体ごと吹き飛ばされ、全身を地面に叩きつけられ、動けない私を荒れ狂うホースから助けてくれた師匠のこと。

もう1つは、深夜の炎上火災で暗闇の草むらを走っていて、高さ3メートルもある側溝に転落寸前、正面のガードレールに飛び付いた絶体絶命の私を助けてくれた師匠のこと。

最後に、民家火災の消火活動中のことです。全焼した2階に進入するため、私は、床が抜けないか、両手で窓枠をつかみながら片足で軽く踏み付けた後、今度は両足で体重をいっぱい掛けて確認しました。石橋を叩いて渡る慎重さが大切と自己満足し、窓枠から手を離し、2～3歩進入したその瞬間、メキメキ、パキパキ、ズボーンと、床が突然、崩れ落ちました。床と共に落ちていくとき、とっさに目の前には見えはりにぶらさがり、奈落の底だけはまぬがれましたが、床が崩壊した衝撃で煙と火の粉、それに熱気が全身を包み、呼吸ができませんでした。飛び降りようにも、下は炎の海になっていました。こんな絶体絶命の状況下でも、抜群の機転を利かし、私を引き上げ、無事助けてくれた師匠もいました。

これらの現場経験は、自分の命に関わる大きな事故につながっていてもおかしくはなかったのですが、幸いにも、これらの全てがかすり傷で済みました。

長い消防生活のなかで、私がこれらの体験を忘れられないのは、恐怖や焦りということからではありません。それは、常日頃から隊員の行動を気に掛け、指導してくれていた百選錬磨の師匠たちの存在があまりにも偉大だったからです。師匠たちは、瞬時にその場の空気を読み取り、適格な判断を下され、危険な現場活動を少しでも安全な方向に導いてくれました。本当の意味でのベテランとしての責任感や普段の安全に対する心掛けがあるから、突然の切羽詰まった危険に遭遇しても、適格に対処できる技量を備えておられたのだと思います。

こんなすごい人たちから、日夜、厳しく怒られながら育てていただき、めずらしく、褒められたときは、最高に嬉しかったものです。

昔、よく「あの人は火災原因調査の神様。地水利の神様。訓練の神様。現場の神様。」と呼ばれていたベテランがたくさんおられましたが、大量退職でどんどん消防の世界を引退されていきました。1979年4月、19歳で消防の世界に足を踏み入れ、何もわからない、何もできない、鈍でのろまな私を根気強く育ててくれた師匠たちには、感謝の言葉しか見当たりません。今日までの36年間、現場で大きなケガもなく勤務できたのは、若干の運もあったかもしれませんが、やはり師匠たちの教えがあったからだと思います。だから、あのような危険な現場に直面しても、そこからうまく逃れる術を体得していったのだと思います。

私も残すところあと数年で卒業になります。私は、師匠たちから数々のいろいろな目に見えない知識・技術、そして現場活動以外のうまく仕事を進めていく要領を学ばせてもらいました。残された定年退職までの時間は、偉大な師匠たちと同じようにはいかないですが、若い職員に少しでも技量を伝授していくために使いたい、そう思います。



昭和54年 初任科生の頃  
筆者後列左側



平成26年  
岩倉消防出張所にて  
筆者前列右から2人目

平成27年  
9月号目次

#### お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

#### 区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる